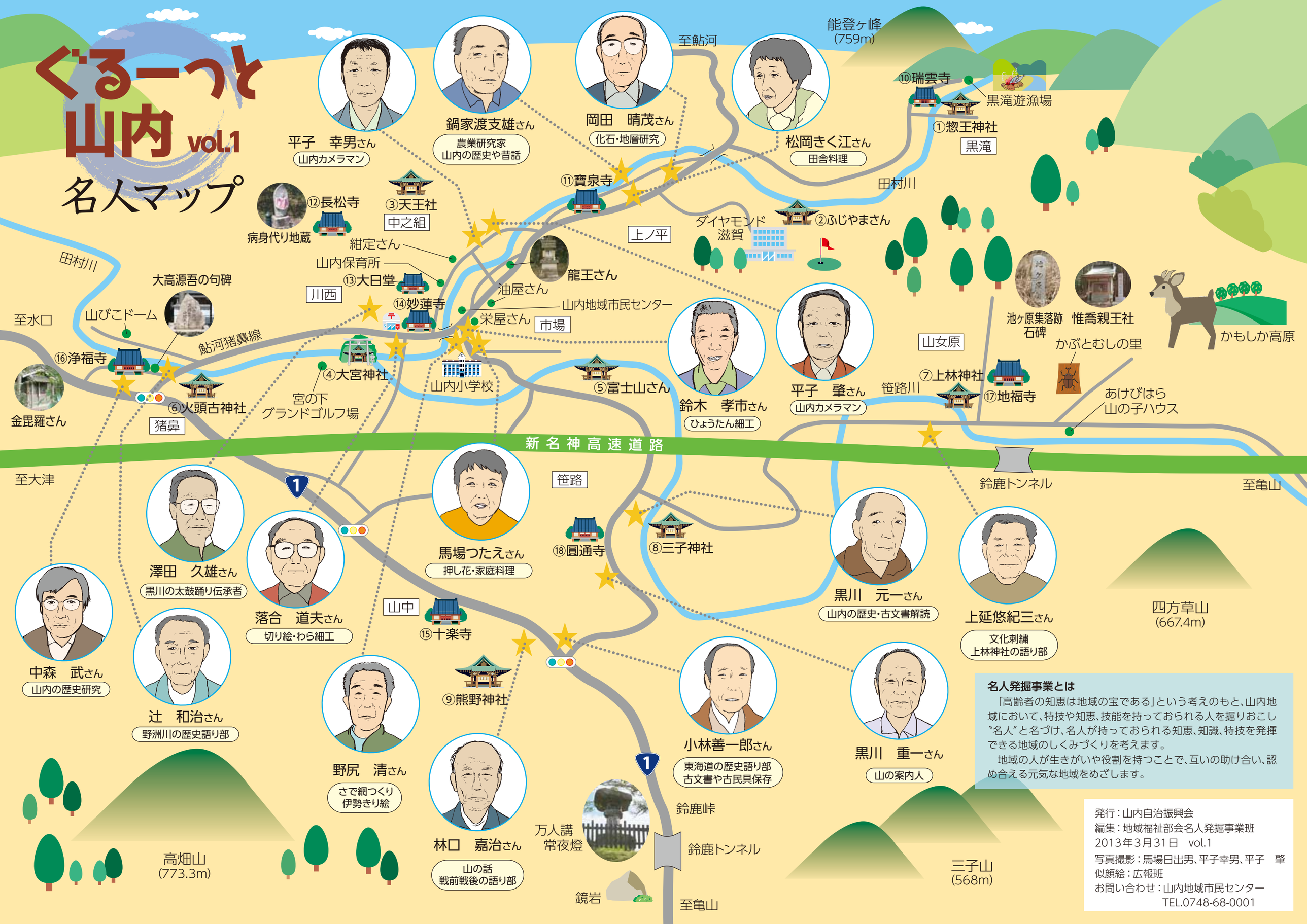
ぐるーっと山内 vol.1
名人マップ



名人発掘事業とは

「高齢者の知恵は地域の宝である」という考えのもと、山内地域において、特技や知恵、技能を持っておられる人を掘りおこし〝名人〟と名づけ、名人が持っておられる知恵、知識、特技を発揮できる地域のしくみづくりを考えます。

地域の人が生きがいや役割を持つことで、互いの助け合い、認め合える元気な地域をめざします。

発行：山内自治振興会
編集：地域福祉部会名人発掘事業班
2013年3月31日　vol.1
写真撮影：馬場日出男、平子幸男、平子　肇
似顔絵：広報班
お問い合わせ：山内地域市民センター
TEL.0748-68-0001

① 惣王神社 （黒滝）

創立年は不詳で、当初社名は「若宮大明神」であったが、明治維新の際現在の社名に改称されました。毎年７月の例大祭には花笠太鼓踊り（雨乞い踊り）が行われています。

② ふじやまさん（上の平）

上の平「ダイヤモンド滋賀」の入り口に鎮座され「富士山さん」「浅間さん」と呼ばれています。村の守り神として、今でも毎年７月の第１日曜日の夕方、氏子の代表と宮司さんが参拝されています。

③ 天王社 （中ノ組）

素戔嗚尊を祭神とする、祇園信仰の神社で、村の守り神とされています。神社の境内には樹齢 300 余年の椎の木が聳え立っています。坂上田村麻呂にいわれのある弓矢が残されています。

④ 大宮神社 （川西）

永禄年間、黒川氏が「大國主神」を祀ったことが始まりとされています。4月の例大祭には、4つの字から太鼓と鬼の踊り子、花笠、稚児、舞姫が集い、祭礼が繰り広げられます。この踊りは山女原と黒滝の「花笠太鼓踊り」と一括して「土山の太鼓踊り」として県指定無形文化財となっています。

⑤ 富士山さん （市場）

富士山さんと親しまれている浅間神社は、いつ頃祀られたか定かではありません。今の祠は以前の祠が伊勢湾台風で飛ばされ、見つからず、それ以後に飛ばないようコンクリートブロックで囲いが施されたものです。

以前は黒川の各区から２名づつ８名の人が７月に１週間大宮神社にこもり、田村川で身を清めた後参拝されていましたが、現在は７月の第１日曜に市場区の各家から１人お参りしています。

⑥ 火頭古神社 （猪鼻）

八王子明神の分霊で、国狭槌命が祀られ、古くは大宮大明神を祀ったことが始まりと言われています。社殿が国の登録有形文化財となっています。紅葉が美しくその時期には写真撮影に多くの方が訪れられます。

⑦ 上林神社（山女原）

素戔嗚尊を祀り、毎年４月の例大祭には花笠太鼓踊りが奉納されます。古式豊かな踊りが伝承されていますが、鬼の面をかぶる踊り子が子供であるため、近年の少子化に伴い伝承が危ぶまれています。

⑧ 三子神社 （笹路）

祭神は村御祖神と鈴鹿姫命、倉稲魂命が祀られ、４月との祭礼には甘酒祭とよばれる甘酒を献ずる式があり、その後一般参拝者に分配されます。

⑨ 熊野神社 （山中）

嘉禄２年（1226 年）鈴鹿の関の守護が山中城を築いた際、勧請したものと思われ「三社大明神」と称されたと伝えられています。1月10日の「行い祭」では 10 メートル程の大注連縄を氏子が打ち、地面に伏す氏子の背に重ねて厄除けをする神事があります。

⑩ 瑞雲寺 （黒滝）

曹洞宗・本尊は勢至菩薩

境内には宝篋印塔が建立され、雷は黒滝には落ちないと昔から言われています。毎年７月の花笠太鼓踊りの際は、惣王神社で踊った後、瑞雲寺境内でも奉納されます。

⑪ 寶泉寺 （上の平）

臨済宗・本尊は観世音菩薩

大永年間（1521年～1527年）僧宗端によって草創された京都東福寺の末寺。薬師堂には薬師如来とその周りに従う十二神将が祀られています。

⑫ 長松寺 （川西）

臨済宗・本尊は観世音菩薩

往古は天台宗大日寺の塔中で地蔵庵と称されていました。元亀年間兵火にあったが、大日如来像は火難を免れました。

本堂の裏手には江戸後期の住職が疫病祓いのため建立したとされている「病身代わり地蔵」が祀られ、檀家を始め多くの人がお参りをされています。

⑬ 大日堂 （川西）

収蔵されている「大日如来」は明治45年に国宝の指定を受け、昭和25年に重要文化財に指定替えされました。

元は天台宗大日寺と称し行基菩薩（668～749）を開山として創建されたと伝えられています。

⑭ 妙蓮寺 （川西）

日蓮宗・本尊は題目宝塔

土山町で唯一の日蓮宗の寺院で、鬼子母尊神、釈迦如来等が祀られています。黒川氏創建と伝えられ、歴代の黒川氏の先祖代々の位牌が祀られています。

また駐車場横には黒川氏の墓石が残されています。

⑮ 十楽寺 （山中）

浄土宗・本尊は阿弥陀如来

ご本尊の阿弥陀如来坐像は丈六の坐像（278.5 ㎝）とも言い、県内でも数少ない大仏で、市の指定文化財となっています。摩耶夫人立像は釈尊が右の腋から生まれようとしている像で、我が国では法隆寺と本寺の二体と希少価値の高い仏像で市指定文化財となっています。十一面観音立像も市の指定文化財となっています。

⑯ 浄福寺 （猪鼻）

臨済宗・本尊は薬師如来

薬師如来とその周りに従う十二神将が祀られ、医王山と称されているのは、法を説いて人の悩みを癒す仏で菩薩を医師にたとえていることから。

また境内前には、赤穂浪士の一人で、俳人の大高源吾（雅号は子葉）の句碑があり「いの花や早稲のもまるる山おろし」の句が刻まれています。

⑰ 地福寺 （山女原）

臨済宗・本尊は地蔵尊

開山時は天台宗延暦寺に属していましたが分保の頃臨済宗遠近江奥山方広寺派に属する。平安～室町時代の大般若経 600 巻のうち 562 巻が現存し、教本の紙背には当時の記録が残され大変貴重なもので、県の文化財に指定されています 。

⑱ 圓通寺 （笹路）

臨済宗・本尊は観世音菩薩

京都花園妙心寺の末派。開山時の僧南俊は天台宗の僧であったが、花園妙心寺頭龍泉庵において参得し、その後臨済宗となる。集落の高台に位置し、境内には四季折々の花が絶えない寺院。